

氏名	菅原 ますみ SUGAWARA MASUMI
所属 職名	人間文化創成科学研究科先端融合系 教授
学位 専門分野	1990年7月文学博士（東京都立大学大学院人文科学研究科・心理学）取得 発達心理学、発達精神病理学
URL	
E-mail	sugawara.masumi@ocha.ac.jp

### 研究者キーワード / Keywords

発達心理学  
発達精神病理学  
パーソナリティ心理学

Developmental psychology  
Developmental psychopathology  
Psychology of personality

### 主要業績

『保育の質と子どもの発達?アメリカ国立小児保健・人間発達研究所の長期追跡研究から?』, 日本子ども学会編集, 菅原ますみ・松本聡子訳, 2009.10, 赤ちゃんとママ社.

A Preliminary Study of the School and Family Environment of Japanese Junior High School High School Students, Satoko Matsumoto, Hiroto Murohashi, Naomi Yoshitake, Junichi Furusho, Masumi Sugawara, PROCEEDINGS, Science of Human Development for Restructuring the "Gap Widening Society", 57-65, 2010.9.

「コラム3 養育と子どもの精神的健康」, 坂本真士・杉山崇・伊藤絵美, 『臨床に活かす基礎心理学』, 東京大学出版, 155-156, 2010.3.

「第5章 児童虐待と保護者のメンタルヘルス」, 社団法人日本発達障害福祉連盟, 『障害児の親のメンタルヘルス支援マニュアル?子ども支援は親支援から?』, 59-68, 2010.3.

「保育の質と子どもの発達」, 菅原ますみ・中村啓子・一色伸夫, 子ども学, 12, 99-128, 2010.3.

### 研究内容 / Research Pursuits

2010年度には以下の研究を実施した： 1) Child Care Qualityに関する就学前の縦断調査・・・家庭および保育施設での養育の質が子どもの心身の発達に及ぼす影響についての2010年度7回目の追跡調査を完了した。2) グローバルCOE子どものQOLと社会的格差に関する縦断的研究・・・グローバルCOEの領域融合型研究として、幼児期の国際比較研究と思春期の国内学校調査を実施した。3) メディアと子どもの発達・・・NHKとの共同研究で8回◆の8歳時点調査を完了した。4) 妊娠・出産・子育てに関する追跡調査（2歳時点）をベネッセコーポレーションとともに実施した。

The following longitudinal research projects were conducted in 2010. 1) Study on Child Care Quality: The purpose of this study is to find out the effects of the quality of care provided at home and child care centers on children's physical and psychologic

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部教育：1年次基礎演習（理論）で臨床領域を担当した。2年次・3年次の心理学基礎教育では、実験・演習を通じて発達心理学および臨床心理学の基礎的技法の修得をめざした。4年次では卒論ゼミでは、子ども期の心理的適応と環境要因との関連に関する様々な心理学的アプローチの実際について研究指導をおこなった。大学院教育：発達精神病理学の基礎に関する基本英文テキストを講読するとともに、演習および個別の研究指導によって具体的研究方法論の指導をおこなった。修士論文・博士論文の指導では、家族関係と子どもの発達に関する広範囲な発達精神病理学的研究の実際について指導をおこなっている。

Undergraduate students: In “Kiso-zemi” for freshman, the major theme was “family”. Studies on family from various academic fields such as psychology, sociology, education, behavioral genetics, and comparative ethology were discussed during the class, and

## ■ 研究計画

上記の研究プロジェクトを発展させ、また各プロジェクトにおける知見に基づいた研究発表を充実していきたいと考えている。

## ■ メッセージ

子どもの健やかな心身の発達には遺伝子から家庭環境、学校での体験、社会的制度に至るまで広範囲な要因が影響を及ぼします。これらの諸要因がどのようなメカニズムとプロセスを経て子どもの心身の発達や健康に関わってくるのかを明らかにすることが私たちの研究室の目標です。